

MUSASHINO MUNICIPAL ASSEMBLY

武蔵野市議会だより

No. 348

発行日 平成25年(2013年)2月1日

発行 武蔵野市議会

東京都武蔵野市緑町 2-2-28

TEL 0422-60-1883 (直)

FAX 0422-55-7555

CONTENTS

- 一般質問 2-3 面
- 議案の審議結果一覧 4 面
- 政府等への意見書 4 面
- 陳情審議結果 4 面

第四回 市議会定例会

第四回定例会は、十二月五日から十九日まで開催されました。今議会では、十四人の議員による一般質問が行われたほか、武蔵野市保育の実施に関する条例など四十件の市長提出議案、武蔵野市議会会議規則の一部を改正する規則など計二件の議員提出議案が審議されました。

保育料改定と市立保育園三園の運営主体の移行に関連する議案を可決

十二月十二日の文教委員会の審査を経て、十九日の本会議において、「武蔵野市保育の実施に関する条例」に関しては二名ずつの賛成討論と反対討論が、「武蔵野市立保育園条例の一部を改正する条例」「市有財産の処分について」(三件) に関しては一名の反対討論が行われた後、五議案いずれも賛

成多数で可決されました。

「武蔵野市保育の実施に関する条例」の主な内容は、平成二十四年七月に設置した保育料審議会の答申を踏まえ、長引く景気低迷の中ではありますが、新たな保育ニーズや質の向上のための財源がさらに必要のため、保育料を改定するものです。「武蔵野市立保育園

条例の一部を改正する条例」は、第三次子どもプラン武蔵野の取り組みを受けて定められた新武蔵野方式による公立保育園の設置・運営主体変更に関する基本方針と第五期長期計画の記載に沿い、桜堤・東・境南第二保育園の設置・運営主体を武蔵野市子ども協会に移行するためのものです。また、「市有財産の処分について」の三議案は、これに伴い、各園舎等を市から協会に無償譲渡するものです。

使用料・手数料等の見直しに関する九条例を可決

使用料・手数料等の見直しに関する九つの条例が、所管の総務委員会・厚生委員会の審査を経て、十二月十九日の本会議で、公会堂・吉祥寺美術館・市民農園条例の一部を改正する条例は賛成多数、市民文化会館・芸能劇場・スイングホール・松露庵・かたらいの道市民スペース条例の一部を改正する条例と廃棄物の抑制・再利用と適正処理及びまちの美化に関する条例の一部を改正する条例の六条例は全会一致で可決されました。

各条例は、四年ごとに市が行っている使用料・手数料等の見直しに伴い、所要の改正をするものです。受益者負担の原則、公平性の確保、財政運営面からの適正収入の確保および他自治体との均衡を図るほかに、厳しい社会経済状況も考慮されています。

条例以外の規則等を含めると八千四百五十二万円の歳入増が見込まれます。文化施設については、使用料の土日休日加算が固定座席等の設置されたホールに限定されるほかに、展覧会目的・練習目的の使用料の徴収割合が統一され、茶室の使用料が引き下げられます。

武蔵境駅北側の新築工事契約を可決

十二月十七日の鉄道対策・武蔵境駅周辺整備特別委員会の審査を経て、十九日の本会議において「武蔵境駅舎連続施設(北側)新築工事請負契約」が全会一致で可決されました。

本契約による施設は、平成十九、二十年度に施工した駅舎連続施設南側と一体で計画したものであり、南北一体化を象徴する駅前空間の創出や、回遊性の高い、にぎわいのある駅前空間の創出などをコンセプトとしています。なお、契約金額は四億七千五百六十五万円、工期は平成二十五年十二月二十七日までの約一年間です。



「吉祥寺イルミネーション」

撮影：酒川 研一 (武蔵野市)

場所：吉祥寺駅北口 (2013. 1. 4)

今年25周年を迎える吉祥寺駅北口のイルミネーションを撮影してみました。

Photo Gallery
フォトギャラリー

写真募集中!



平成24年12月1日、八幡町コミュニティセンターのオープニングセレモニーが行われ、さくち太郎議長、土屋美恵子副議長のほか、4名の総務委員が出席しました。(さくち太郎議長のあいさつ)

大人の学びと市民リーダーの養成等について

西園寺みきこ議員

- 問 環境フェスタ等で市民が運営全体を経験し、学びが深まることについての見解は。
- 答 調整の場の経験はその後の活動の大きな力となるため、今後も市民活動の支援や啓発のイベントのあり方について考えたい。
- 問 市民活動への対価について、統一基準を設けるための熟議が必要ではないか。
- 答 考え方を明確にして、市民に伝わるような整理ができるよう引き続き検討したい。
- 問 市民と行政間にある信頼性のギャップが課題とされているが、環境フェスタ等のイベントの現場で信頼関係を築くべきでは。
- 答 市民とともに汗をかく機会や中身の議論に集中するための活動方法を検討したい。

CO₂削減の視点からまちづくりを推進せよ

深田貴美子議員

- 問 「都市低炭素化促進法」に基づきCO₂削減の視点で、①吉祥寺南口再開発、②中道通り大型物販店84台附置義務駐車場設置と交通問題解決の具体の構想を伺う。
- 答 まちづくりの責任者として①環境負荷低減に向け取り組む②都に働きかけたい。
- 問 新エネルギー活用検討委員会を都市低炭素化促進法の求める協議会に拡充しては。
- 答 低炭素まちづくり計画策定も視野に入れ、今後につなげていきたいと考えている。
- 問 子ども・子育て関連3法制定を受け、27年度の本格施行に向けた展望を伺う。
- 答 予算計上や対外窓口一元化など、準備組織の編成を含め、体制構築を検討したい。

武蔵野市の食育に関する取り組み等について

前田秀樹議員

- 問 食糧自給率が先進国の中で最低レベルである今こそ食の尊さ、楽しさ、喜びまた安全性など食育を進めるべきと思うが、①市は食育をどうとらえ、どう考えているか②多岐に渡る食育は庁内各課の横のつながりを持って進めるべきと考えるが、現状は。
- 答 ①地域全体で豊かな食がはぐまれるよう、家庭、学校、地域が連携し、食育の推進を図ることが必要と考え、健康推進計画に理念、基本方針を定めたところである②平成18年度から食育担当課連絡会議を設け、情報交換、情報共有を行っている。このほか、末広通りの道路整備進捗状況についての質問がありました。

商業地の今後等について

木崎 剛議員

- 問 他区市商業地との競争激化の中、商業地としての吉祥寺地区の問題点とその対応について、どのように考えているか伺う。
- 答 近隣都市の発展で、吉祥寺の広域性が低下し販売額も減少傾向にある。既存資源を生かし、吉祥寺らしい都市観光の推進と、駅周辺の環境整備の拡充等を進めていく。
- 問 境こども園の工事請負業者の倒産により、来年度の待機児童対策に大きな影響が出ると思われるが、今後の見通しは。
- 答 25年4月に北町保育園の移転・増築、26年7月頃には泉幼稚園跡地に子育て支援拠点施設を設置する等、多様な保育サービス提供により待機児童対策を進めていく。

一般質問

第4回定例会では12月5日、6日に、14名の議員から一般質問が行われました。各議員の主な質問と答弁を要約して掲載します。

詳しくは、2月下旬発行予定の会議録(設置場所:各市立図書館・コミュニティセンター、市役所7階市政資料コーナー)、または武蔵野市議会ホームページの会議録検索(第4回定例会分は2月19日登録予定)、インターネット議会中継(アクセス手順は下部に掲載)でご覧いただけます。

※一般質問とは、議員が市政全般にわたり、市長をはじめとする執行機関に対し、事務の状況や将来に対する方針等について、質問をしたり、説明や報告を求めたりすることをいいます。



平成24年11月8日に、市庁舎防災訓練が行われました。(訓練実施後の近藤和義総務委員長の講評)

水と緑のネットワークについて

深沢達也議員

- 問 現在の緑被率とこれまでの推移を伺う。
- 答 調査当初の昭和47年の33.3%から途中で低下したものの、最近の調査では上向きの兆しが見られ25.3%まで回復した。
- 問 まちの顔とも言える市内3駅周辺部の緑化のビジョンを伺う。
- 答 市内には大きな都立公園があり、特に吉祥寺では水と緑を守るだけでなく、緑の空間を市街地につないでいきたい。
- 問 市民との協働による緑化推進について市の考えを伺う。
- 答 緑被率のうちで圧倒的に多いのは民間の緑であるため、保全や拡充の取り組みをお願いしたいと考えている。

若者の貧困とパーソナル・サポートについて

山本あつし議員

- 問 若年層の貧困についての認識を伺う。
- 答 若い世代の非正規雇用化が顕著になり、低所得になりがちであることから貧困につながるケースも多く、課題と考えている。
- 問 パーソナル・サポートは行政、生活協同組合系統などいろいろな組織が進出し始めており、この流れに対する見解を伺う。
- 答 大変関心を持っている。市がどのような対応をできるかについて今後研究したい。
- 問 子どもの貧困およびその連鎖の問題についての基本的な考えを伺う。
- 答 子どもはさまざまな境遇で育っているが、義務教育終了時に同じスタートラインに立ち、社会に出ていくことが理想である。

本市のスポーツ振興について

桑津昇太郎議員

- 問 スポーツの発するすばらしい力を信じ、幅広い世代で楽しめる環境等、本市での生涯スポーツの充実を図ることへの見解は。
- 答 個人の健康の維持増進のみならず、武蔵野市民らしい豊かな生活やスポーツを通じた地域づくりについても積極的に取り組む必要があると考えている。
- 問 小・中学校の校庭の芝生化事業について、子どもたちの健康をはぐむ視点から本市でも積極的に取り組むべきではないか。
- 答 学校用地を活用した緑化は大切だが、授業や地域活動等との両立を図り、芝生化を含めた環境教育につながる取り組みの実施方法を研究しながら緑化を推進したい。

年末年始の援護対策について

本間まさよ議員

- 問 市民が安心して年末年始を過ごせるよう、臨時相談窓口体制を設けてはどうか。
- 答 年末年始を問わず、緊急対応の連絡体制ができており、例年どおりの体制で臨む。
- 問 貧困ビジネスと思われる宿泊施設が社会問題化しているが、市長の課題認識は。
- 答 都と情報交換を行い、地域相場よりも高い家賃や入居期間の短さ等の課題を認識し、引き続き注目する必要があると考える。
- 問 医療にかかる低所得者の負担軽減のため、市内の病院に対して、市が無料低額診療実施を働きかけるよう求めるが、見解は。
- 答 都の事業であるがPR方法や、市内医療機関の協力も含め、検討していきたい。

予防接種、福祉移動サービスの取り組み等について

蔵野恵美子議員

- 問 任意予防接種について①予防接種法に基づく定期接種化の実現が必要と考えるが、市長の見解は②3ワクチン*の国からの交付金が途切れた場合の本市の対応は。
- 答 ①定期接種化が望ましいが、国策として財源負担は国にお願いしたい②事業が継続できるよう市長会を通じて都に要請しており、しばらく推移を見たいと考える。
- 問 身体障害だけではなく知的障害の方の移動補助、障害児童の送迎等、総合的な移動サービスの今後の展開について伺う。
- 答 サービス利用の相談窓口が制度上一体化されつつあり、移動支援の市場化の可能性については今後研究していきたい。

*子宮頸がん予防・ヒブ・小児用肺炎球菌ワクチン

「主権」と「人権」・子どもの未来に責任を持つ教育等について

内山さとこ議員

- 問 自治体運営の基本ルールの仕組みとして、市民・議員・市長・職員の関係性がつながらなければならないが、いかがか。
- 答 議員も市長も選挙で選ばれているが、市民からの白紙委任ではないと考えている。自治のあり方については、市民と議員と市が力を合わせて構築していきたいと考える。
- 問 子どもの権利条約の理念を教育現場で生かすことについての所見を伺う。
- 答 自尊心や責任感を高めることや、自ら考え責任を持って行動する実践的態度を育てていきたい。このことにより、子どもたちが自らの人権を大切にし、尊重し合う社会につながると考えている。

長期計画等における人権意識を高めるための本市の取り組み等について

齊藤シンイチ議員

- 問 長期計画における人権意識を高める取り組みについて、具体的な展開や考え方は。
- 答 第五期長期計画の文化・市民生活分野の中に人権にかかわる項目を新たに立てたが、互いに尊重し認め合う平和な社会の構築という考えに基づき、さまざまな分野での展開を考えていきたい。
- 問 教育・子育て支援分野の窓口対応や、子どもにかかわる市民・行政サービスの課題について、どのように検討しているのか。
- 答 子ども家庭支援センターが子育て支援分野の総合窓口であるが、子育て相談から教育相談につなげる等、市内関係機関との連携をこれからも深めて対応していきたい。

原発事故避難者・生活困窮者などへ住宅確保の支援を

山本ひとみ議員

- 問 福島県は、原発事故避難者の県外での借上住宅について新規受付終了を発表した。制度存続を働きかけることへの見解を伺う。
- 答 全国市長会で、東日本大震災からの復旧・復興に関する決議をもって国に対し要請を行っており、この中にも含むと考える。
- 問 小金井市のゲストハウスと呼ばれる簡易宿泊所で、母子心中事件があった。本市にもゲストハウスがあり、貧困な階層の住民が入居する住宅の可能性もあるが、①入居の実情は②実態調査を実施すべきでは。
- 答 ①複数棟あり、40名に生活保護を適用している②生活実態の調査は、生活保護の申請があった場合に行っている。

信頼される市役所づくりを

小美濃安弘議員

- 問 市職員に刑事事件となる悪意の不祥事を起こさせないための取り組みを伺う。
- 答 コンプライアンス自己点検シートを用いた職場の話し合いで倫理の徹底を図る。
- 問 ワークショップについては、市民に目的や意見の取り扱い等の約束事があらかじめ伝えられず、不信感を生んではいないか。
- 答 事前に位置づけや役割を十分に説明し、理解いただけるように努めていきたい。
- 問 市道298号線の暫定駐輪場敷地における施設建設に関する市長の見解を伺う。
- 答 恒久的な施設の建設は、吉祥寺エリア全体の公共施設配置の計画に基づく開発が前提だが、まだ条件が整っていない。

携帯電話版ホームページのお知らせ

携帯電話で市議会からのお知らせをご覧いただけます。携帯電話版武蔵野市ホームページを開き、「市議会のお知らせ」をクリックしてください。

携帯電話版武蔵野市ホームページの開き方

下記のURLを直接入力するか、携帯電話でQRコード(2次元バーコード)を読み取ってください。

<http://www.city.musashino.lg.jp/m/>

1面写真募集要領 (次回の締め切り4月15日)

- 内 容: 武蔵野市内で応募者自身が撮影した、未発表のオリジナル作品(カラー)に限ります(明らかに人物を特定できる場合は、ご本人の了承を得てください)。
- 規 格: ①紙焼きの場合 ・サイズ 六つ切り
②デジタルデータの場合
・ファイル形式 J P E G形式
・画像サイズ 1600×1200ピクセル以上
・ファイルサイズ 2MB程度まで
(2MB以上になるとメールが受信できない場合があります)
- 審 査: 議会広報委員会が審査します。
- 発 表: 採用された作品は、5月15日発行の市議会だよりに掲載します(賞品等はありませんのでご了承ください)。
- 著 作 権: 作品の著作権は撮影者本人に帰属します。ただし、市議会だより掲載後6か月間、他媒体での発表等をご遠慮いただくことを、作品採用の条件といたします。
- 期 限: 4月15日(月) 当日消印有効
- 応募方法: 撮影者の住所・氏名・電話番号・撮影年月日・撮影場所・作品名・作品に関するコメント(100字程度)を明記の上、下記まで先までご応募ください(作品は返却いたしません。なお、今回採用されなかった場合、次号以降の市議会だよりの1面写真に使用させていただく場合があります)。
- あ て 先: 〒180-8777 武蔵野市緑町2-2-28 武蔵野市議会事務局 市議会だより係
デジタルデータの場合はメールで ofc-gikai@city.musashino.lg.jpまで (CD-R等、各種メディアでの送付はご遠慮ください)
- 問い合わせ: TEL0422-60-1883

幸福度による長期計画の検証、評価を

川名ゆうじ議員

- 問 長期計画について①従来の経済原則である物質的な向上ではなく、心の豊かさや幸福度を高めるまちという考えで検証や評価をすべきでは②基本施策や実行計画事業等、施策単位での評価をすべきではないか。
- 答 ①経済が縮小化する状況では必要度に着目した市政運営が必要だが、幸福度による評価については今後研究したい②本市の長期計画は既存の事業を完全に網羅しておらず、全事業の評価は難しいが、画一的な方法による評価の効果を研究していきたい。このほか、図書館基本計画の進捗状況について、インターネットで選挙公報を公開することについての質問がありました。

傍聴のご案内

傍聴は、2〜3面の一般質問や議案の審議など、市議会の活動を知るよい機会です。お気軽にお越しください。なお、傍聴の際には、「静粛を旨とする」等の傍聴規則をお守りください。

本会議の傍聴	市役所東棟 8階の傍聴者入口で受付をしてください。
委員会の傍聴	市役所南棟 7階の議会事務局で受付をしてください。

※予約は不要です。また、議会の日程については、ホームページでご確認ください(1面下部参照)、議会事務局議事係に直接お問い合わせください。

☎ 0422-60-1883

インターネット議会中継をご覧いただけます

現在、平成18年9月定例会以降の、本会議・決算特別委員会・予算特別委員会等の模様を録画でご覧いただけます。なお、録画は、生中継終了後3日程度(土・日・休日を除く)で、ご覧いただけます。

インターネット議会中継ホームページにアクセスする手順

武蔵野市ホームページから
→ 市議会 → インターネット中継

の順にクリックしてください。

インターネット議会中継ホームページ
<http://www.musashino-city.stream.jfif.co.jp/>



平成24年12月21日に、歳末特別環境浄化パトロールが吉祥寺駅周辺で実施され、さくち太郎議長のほか、8名の議員が参加しました。

